

第30回霧島市・上野原縄文の森駅伝大会  
新型コロナウイルス感染症予防対策

1 参加者や来場者にかかる留意事項

- (1) 参加者については、令和5年3月5日（日）から12日（日）まで1週間、指定する様式またはそれに準ずる体調管理チェックシートによる体調確認を実施し、万一感染者が発生した場合などに、保健所等に提供するための資料として提供を求めることがあるため大会終了後少なくとも1ヶ月間保管すること。1週間内に、37.5℃以上の発熱や息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）等の感染疑い症状があった場合（チェックリストに該当する項目があった場合）は大会前までに医療機関を受診し医師の判断を仰ぐとともに、大会当日、体調が良くない場合は参加（来場）を取りやめること。
- (2) 来場者は全員、会場内に設けられた検温所で検温を受け、体調に問題がないことを証明するリストバンドを受取り装着すること。
- (3) 適切なマスク（不織布マスクを推奨）を正しく着用すること。
- (4) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を徹底すること。
- (5) 他の参加者、主催者スタッフ等と適切な距離を確保すること。
- (6) 大会中に大きな声で会話等は控えること。
- (7) スタート直前までマスクを着用し、ゴール後、マスクを着用すること。（呼吸を整えたあと）
- (8) 大会後2週間体調管理チェックシートによる体調確認を行うこと。保存期間等は（1）に同じ。
- (9) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

※大会前に陽性者または濃厚接触者となった場合の参加判断は（公財）日本陸上競技連盟「ロードレース開催についてのガイダンス」に則る。感染防止のために主催者が決めたその他の事項を遵守し、主催者の指示に従うこと。

2 主催者の留意事項

- (1) 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）など個人情報厳重に管理する。
- (2) 会場出入口、各中継所、トイレ、更衣室など会場内に手指消毒剤を設置する。
- (3) 来場者を検温所へ誘導し体温測定を行い、発熱（37.5℃以上）がある場合入場を制限する。
- (4) スタッフは全員、マスク（品質の確かな不織布）を着用する。
- (5) 当日受付のほか、事前受付を行うなど当日の混雑を極力避ける。
- (6) 給水所では、カップを参加者へ手渡しせず、テーブル等に準備したものを参加者に渡せるよう配慮する。また、会場内での飲食時に会話を控えるよう呼びかける。